

# 研究開発だより

Vol.5

「光輝(かがやき)」で資質・能力を働かせ、輝いている子どもたちの様子をお届けいたします!

## 義務教育完成期 (8・9年生)

自ら「問い」を設定し  
その解決に向けて取り組む

## 「個人探究学習」

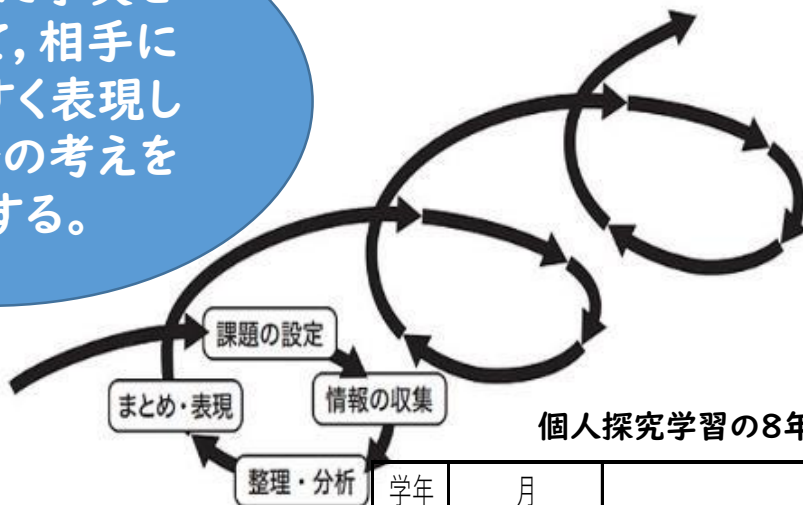
にチャレンジしている姿を紹介します

8年「大志を抱け」9年「夢や希望を掴み取れ」というテーマを掲げ、各自で問いを設定する「個人探究学習」に取り組んでいます。本単元は、これまでの道徳、特別活動そして各教科の学びを、自ら活用、応用しながら、「躍動する感性・レジリエンス・横断的な知識」を高めることをめざしています。附属三原学校園の「光輝(かがやき)」の集大成となる単元です。課題設定時の取組の充実と共に、探究の過程における先輩・仲間・先生、そして先哲との対話を重視し、校内での学びを起点に、地域・社会へと視野を広げ、自発的に学んだことを活用し、誰かのために役に立つ問題提起や解決策を発表します。

この探究活動を通して、本学校園信条「人のために尽くして感謝しよう」の意味を考え、自分自身のこれからの生き方へとつながる学びをめざしています。

2. 得られた事実を根拠として、相手に分かりやすく表現したり、自分の考えを提言する。

3. 学習したことを表現することで、多様性社会における自己の生き方について考える。



### 【取り組みの例】

課題生成型  
仮説検証型  
創作・開発型

1. 自ら課題を見出し、見通しを持って多面的・多角的に調べたり考えたりする。

私がこのテーマにした理由は・・・

個人探究学習の8年9年の2年間の学び(主な流れであり個人による)

学年	月	主な学習内容
8年	6月	なぜ探究学習をするのか(自分を見つめる)先輩の探究学習に学ぶ(見通しを立てる)
	7月	自由に研究分野を探そう(テーマ設定しよう・仲間との対話・先生との面接)
	8月	研究テーマを絞り込もう(コア書籍・先行研究などの資料収集)
	9月	研究分野(研究テーマ)を決めよう クラス・学年で発表会
	10月・11月	情報カードを作っていこう(ピースの作成)
	12月・1月	研究計画を立てる(ピースの作成)9年生最終発表会への参加
	2月	研究テーマ・研究計画の構想 全校発表会(構想発表会)の実施 一問題の所在と研究の動機そして、どのような研究方法で進めるかを構想として発表する
9年	3・4・5月	情報カードを増やしていこう(ピースの作成)
	6月	仲間の研究テーマや研究方法に学び、修正して改善する クラスで交流会
	7・8月	研究を深める(調査やフィールドワークなどでピースの作成)
	9月	研究を深める(ピースをつなげ、最終的な章立ての決定)
	10月	学年での中間発表会(9年生より全校代表も選出)
	11月	最終発表会に向けて論文の完成
	12月	探究学習最終発表会(全員発表&全校で代表発表)



8年 小グループでの発表交流会

広島大学附属三原学校園(幼稚園・小学校・中学校)  
〒723-0004 広島県三原市館町二丁目6番1号  
HP: [https://www.hiroshima-u.ac.jp/fu\\_mihara](https://www.hiroshima-u.ac.jp/fu_mihara)

HPも  
今すぐ  
チェック!



アンケート  
にご協力  
ください



## 8年

## 大志を抱く 探究学習

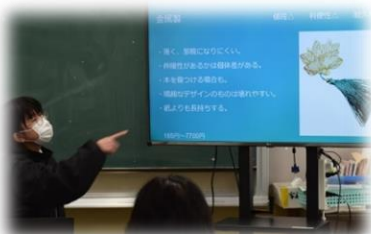
7年生では「20年後の三原市」をテーマにグループで探究学習を行いました。8年生になり、個人での課題設定が最初の山場でした。自分の興味・関心を出発点に、自分がどんな人間か見つけ、さらに広く社会の問題にも目を向けて、どんなテーマで探究するのかを考えました。また「誰かのために」なる研究という視点も大切にしました。これまで「答えのある問題」に取り組むことに慣れている私たちは、「問い」も自分で考え、それをどんな方法で解決するのかも考えるという難しい学びに挑戦しています。

テーマも決定して、やっと軌道に乗り始めた12月に9年生の最終発表会があり、そこでは全校生徒で「探究学習に必要な要素」についてのスパイダー討論を行いました。1年先を進む先輩の研究手法や先輩のアドバイスがよいモデルとなりました。また、時に学年での交流会を実施し、研究テーマが違うからこそ、仲間からの意見や気づきが良い学びとなっています。8年生の多くは、9年生までの研究計画を立てており、2月には「構想発表会」を実施しました。ここで新たな課題を見つけ、その課題を次年度へ反映させて、よりより研究をめざします。

11月：探究学習でめざす姿を話し合い、自己評価のためのルーブリックを考えました。



1月：グループ発表の場面です。熱心に聞き、意見を自由に言い合っ、自分の改善点を見つけました。



2月：構想発表会の場面です。自分の研究構想を分かりやすく伝えようと頑張りました。

## 9年

## 夢や希望を掴み取る 探究学習

9年生は、「夢や希望を掴み取れ」というスローガンを掲げ、自分の将来の夢や希望へとつなげることも意識しながら、探究学習に取り組みました。2年間の探究学習に取り組んだ9年生4名に、その探究の道のりでも考えたこと、身についたと思う力、そして後輩へのアドバイスなどをインタビューしてみました。



僕のテーマは「切りやすく壊れにくいハサミを作る」でした。4年くらい使っていたハサミが壊れたのがきっかけでこのテーマにしました。この課題の解決のため、素材などを調べていくうちに、知らない言葉や方法が見つかり、より深く理解することができました。自分の好きなことを深く掘り下げて、新たな知識を得ることができました。今後、それを活用できるようにしたいです。

後輩の発表について意見を伝えました

9年全校代表者2名は図書室からオンラインで発表しました

後輩の発表を聞いて、全体的に私たちの時より完成度が高く、一つ一つの段階がきちんと考えられていてすごいなって思いました。「何がしたいのか」についてもっと聞いてみたいと思いました。2年間取り組んできたからこそ、このようなことに気付くことができます。

僕のテーマは「イノシシの獣害を少なくする」でした。この学習で探究心を高めることができました。僕は探究心が強い方だけど、さらにその自分の長所を高めることができました。この探究学習は、真剣にやると大きなメリットがあります。例えば、僕のように長所を伸ばすことができたら大きな意味があると思います。長所は時に自分を守ってくれ、これからの力にもなります。諦めずに調査をし、求めている情報が手に入ると、諦めない重要さが分かります。絶対に後から、「あの時得た力が発揮された！」という時が来ると思っています。

発表で使用したスライド



テーマ『イノシシの獣害を少なくする～独自の罠を考案し捕獲量アップにつなげる～』

テーマ『自然災害×防災～非常食～』

私のテーマは、「自然災害×防災」です。私は、情報処理を丁寧に行う力が身につきました。特に事前調査や実験で大切だと感じました。さらに、適切な研究の範囲を設定することも大切だと感じました。範囲が広すぎると手に負えなくなり、逆に、範囲が狭すぎると研究の意義が薄れてしまいます。このようなことから、自分が出来る最大限の適切な範囲設定が大切だと学びました。

